NICHIDO

100V屋外型コードリール
グッドリール

【取扱説明書】

この度は、日動工業のコードリールをお買い上げいただき、厚くお礼申しあげます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、本製品の内容と性能を
十分にご理解の上で、適切な取扱いと保守をおこなってください。
また、取扱説明書はいつでも取出せるよう大切に保管してください。



日動工業株式会社

■目次

安全にご使用いただくためにつぎのことをお守りください <1>

⚠ 警告

⚠ 注意

【注】

コードリール各部品の名称 <2>

安全に取扱いいただくための点検マニュアル <2>

必ずご使用の前にお読みください

事業者の方へ

始業前点検

定期点検 <巻末>

安全にご使用いただくためにつぎのことをお守りください。

⚠警 告	感電事故など、使用者の生命や身体に危険がおよぶおそれがある場合に、その可能性を避けるための注意事項
⚠注 意	誤った取扱いをしたとき、使用者に障害や物的損害のおよぶおそれがある場合に、その可能性を避けるための注意事項
【注】	製品の取扱い、メンテナンスに関する注意事項

⚠ 警 告

・アース(接地)は必ず接続してください。感電するおそれがあります。
・濡れた手でプラグの抜差しをしたり、スイッチを操作したりしないでください。
・電線やプラグ、コンセントなど部品の損傷したものは、絶対に使用しないでください。
感電する原因となります。
・電線を巻いたまま、定格以上使用すると電線が焼けます。定格はドラムに貼付けてある、注意書および銘板をご覧ください。

■防雨型ドラムに対しての警告

・本製品に接続する電気機器のプラグは防雨構造のものを差込んでください。
防雨構造以外のプラグを差込むと、ドラム内部に水が入って感電する原因となります。
・使用しないコンセントには、防雨キャップを確実にかぶせてください。
防雨キャップが不確実な場合は、ドラム内部に水が入って感電する原因となります。

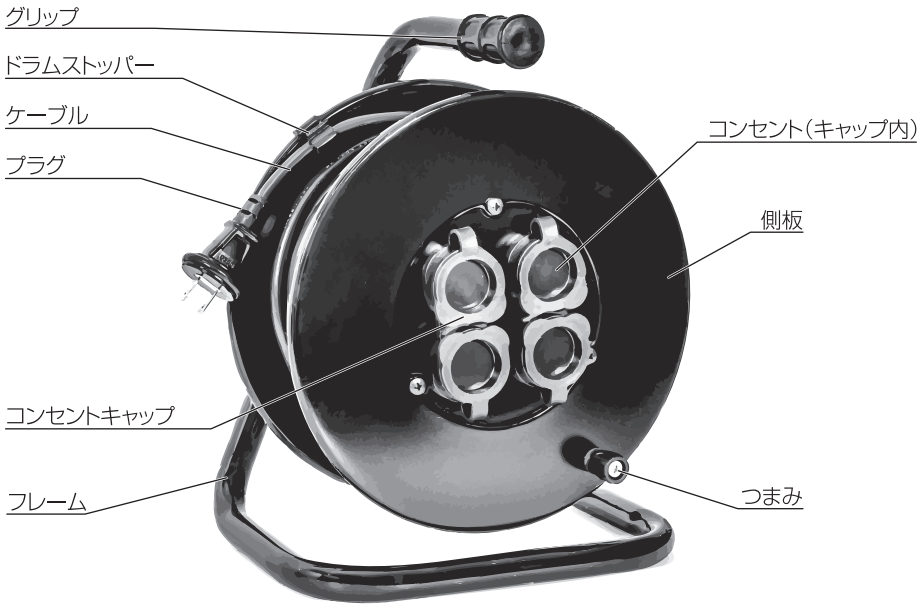
⚠ 注 意

◎使用の際は、落下や転倒のおそれのない安定した場所に置いてください。
◎電線は人や運搬車などで直接踏まれるところでは使用しないでください。
人が転倒したり、電線の断線やショートの原因となります。
◎ドラムの電線は黄色の引出し制限印以上は引出さないでください。
制限印以上引出し、強く引張ると電線引出口に負担がかかり、電線の寿命を短くします。
◎プラグをコンセントから抜く場合は、電線を引張って抜かないでください。
プラグの付け根の断線やショートの原因となります。
◎プラグを抜差しする場合は、必ず接続工具のスイッチを切(OFF)にしてからおこなってください。
◎プラグは、いつもきっちりとコンセントに差込んで使用してください。
※プラグが抜けかかっていると接触不良となり、熱を持ち危険です。

【注】

本製品は安全規格(電気用品の技術基準)に適合していますので、改造などしないでください。
故障の際は、専門の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないばかりでなく事故やけがなどの原因となりますので修理は電気資格のある方に依頼するか、代理店へお申し付けください。
この取扱説明書は全機種共通となっております。製品によっては温度センサー・漏電しゃ断器が付いていない機種がありますのでご注意ください。

■各部品の名称



安全に取扱いいただくための点検マニュアル

必ずご使用の前にお読みください。

本書をよくお読みいただき、本製品の性能をご理解の上、正しく安全に末永く
ご使用いただけるよう、保守・点検をおこなっていただくための点検マニュアルです。

⚠注意	本書で記載している内容は製品を安全にご使用していただくための点検マニュアルです。 故障など、修理が必要な場合は、専門の知識が必要となります。専門の知識を持たない方が修理をしますと、製品が十分に機能しない、また事故やけがの原因となるおそれがありますので、不具合や故障と感じた場合は、すぐにお買上げの販売店または、当社までご連絡ください。

事業者の方へ

**コードリールを取扱う方には本書内の安全な取扱いに関する内容をご理解いただき、
適正な電気の知識をもって、正しい取扱いをしていただきますようお願いします。**

始業前点検　ご使用の前に必ずおこなっていただきたいこと

製品に異常が見られる場合はすぐに使用を中止し、修理依頼をしていただくか、当社にご相談ください。

1 外観に使用上支障をきたすような損傷がないか確認してください。

側板の変形や、防雨型キャップなどが破損していると、
本来の機能を発揮できず、発火や感電など起こすおそれがあります。

2 コンセント・プラグに損傷・腐食・汚れ（付着物）などがないか確認してください。

（刃受け部の損傷・ゆるみ、電源刃の曲がりなど）

差込口にホコリが溜まっていたり、汚れていると**ショート**、**故障**、**火災**、**発火**などを
起こすおそれがあります。
コンセントへの差込みが、ゆるんでいたり、すぐに抜けてしまうと**発熱**や**焼損**するおそれがあります。
電源刃が曲がっている状態では接続が不完全になり、**発熱**や**焼損**するおそれがあります。

3 ドラムからケーブルをすべて引出しているか確認してください。

ケーブルを巻いたまま使用すると、ケーブルが発熱し、**火災**、**故障**の原因となるので必ず引出してください。
巻いたままでの定格は5A前後となります。本体銘板に記載しておりますので、ご確認ください。

4 ケーブルに傷・ひび割れ・膨れ・凹みがないか確認してください。

ケーブル表面に傷などがついたまま使用すると、**漏電**、**感電**、**短絡**の原因となりますので使用しないでください。

6 ケーブルや本体が多湿なところに設置されていないか確認してください。
水溜まりなど、水の中にはつけないでください。

定 期 点 検　定期的に点検をおこなってください

お客様の使用環境、使用頻度にあわせ定期点検をおこなってください。
※点検内容によって専用の機器が必要になります。

1 ケーブル、プラグ、コンセントなどに使用上支障をきたす損傷などがないか確認

2 内部配線にネジ・線の緩みや抜け、断線などがないか確認

3 絶縁抵抗値が規定以上あるか確認

500ボルト絶縁抵抗計により測定した絶縁抵抗値5MΩ以上
（電気用品の技術基準附表第四より）
またはその他自主規定などによって定められた絶縁抵抗値以上

■絶縁抵抗測定方法

①コードリールの機能、性能を確認する
・電源ランプは付いているか。
※電源ランプがついているコードリールは、電源線間（充電部間）の絶縁抵抗測定はできません。
・漏電しゃ断器は付いているか。
※漏電しゃ断器が付いているコードリールは必ず「切」にしてから絶縁抵抗測定をおこなってください。
②コードリールのプラグのアースピンに絶縁抵抗計のアース極を、電源刃にライン極を当てて、
測定をスタートする。
③反対側の電源刃も同様に絶縁抵抗計のライン極を当てて、測定をスタートする。
④合否判定をおこなう。

4 絶縁耐力試験の実施

（100V仕様→1000V・1分間　200V仕様→1500V・1分間に耐えて各部に異常がないこと）

5 漏電しゃ断器、温度センサーの動作確認

◎弊社の電動工具チェッカー（KM-110）を使用すると、アースチェック・短絡（ショート）・絶縁抵抗・導通が簡単にチェックできます。

修理・点検・検査をご用命の際はお買い求めの販売店または当社までお申し付けください。

総発売元 日動工業株式会社

□本　　社　〒572-0076　大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22
TEL.072(803)6905㈹　FAX.072(803)6908
□札幌営業所　〒003-0822　札幌市白石区菊水元町二条2-3-1
TEL.011(871)0577㈹　FAX.011(871)0579
□東京営業所　〒135-0016　東京都江東区東陽4-8-14
TEL.03(5683)4010㈹　FAX.03(5683)4021
□名古屋営業所　〒454-0848　名古屋市中川区松ノ木町1-32-2
TEL.052(351)3666㈹　FAX.052(352)7558
□大阪営業所　〒572-0076　大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22
TEL.072(803)6905㈹　FAX.072(803)6908
□福岡営業所　〒812-0016　福岡市博多区博多駅南4-17-32
TEL.092(474)7955㈹　FAX.092(474)6329

日動ホームページ　http://www.nichido-ind.co.jp/

2018.06